



## ジュネーブのお土産

KDDI欧州調査事務所・所長 **つるさわ 鶴沢** **むねふみ 宗文**



### 1. はじめに

今回はジュネーブに訪れた方がお土産を買われる際に参考にしていただけるように、日本で喜ばれるジュネーブのお土産を「食べ物・飲み物編」「グッズ・小物編」に分けて、旅行ガイドには掲載されない地元情報と共に御紹介いたします。

今回掲載する情報は2014年1月現在のものであること、また市内複数箇所のスーパーマーケットで販売されているものについてはCOOP、MIGROSとのみ記載しておりますことをあらかじめ御了承ください。

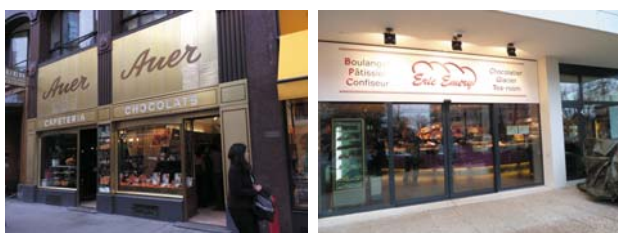
### 2. 食べ物・飲み物編

スイスといえばチョコレートが有名ですが、有名ショコラティエ（チョコレート屋さん）が作る定番の一品から季節限定商品まで希少価値の高い様々なチョコレートが入手できます。またスーパーマーケットで販売している様々な調味料やスイス伝統料理のインスタント食材など物珍しい一品を御紹介いたします。

#### ① キャラメルコーティングのアーモンドチョコレート

店舗：(1) Auer (2) Boulangerie Eric Emery  
場所：(1) 4, Rue de Rive, 1204 Genève (2) Chemin Docteur-Adolphe-Pasteur 2, 1209 Genève

解説：(1) 1939年創業の老舗チョコレート店。トリュフチョコも多彩な品揃えですがアーモンドチョコレートが絶品です。2013年末の某国際会議に訪れた米国・ジョン・ケリー国務長官が、買い物客で混雑する土曜日の午後、警察車両の護衛の下、トラムやバスを通行止めにしてご本人がこのチョコレートを買いに来ました（大手動画共有サイトでその



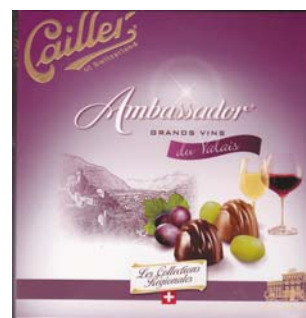
模様を御覧いただけます)。(2) 店名は「パン屋さん」ですがお菓子も製作・販売しています。ITUから徒歩10分程度の所に位置しているお店で、併設されたカフェは、朝は手作りパンの朝食セット目当ての人、午後はケーキ目当ての人で常に混雑しています。このお店には知る人ぞ知るキャラメルコーティングのアーモンドチョコレート (Amandes caramélisées chocolatées) があります。前述のAuerの商品よりも厚めにコーティングされたキャラメルの味がかむたびに広がり、クセになるおいしさです。

#### ② 市販パッケージのお薦めチョコレート (メーカー/商品)

- (1) Lindts/LINDORシリーズの赤 (ミルクチョコレート)
- (2) Midor/Mini Chocolate Meringue
- (3) Cailler/Ambassador Grand Vins du Valais (冬季限定)

店舗：COOP、Migros、Manor (デパート)  
場所：(Manor) Rue Cornavin 6, 1201 Genève

解説：(1) Lindtsは東京都内にも数店舗出展しており日本でも御存じの方が多く有名ブランドです。LINDORシリーズはLindtsとフランス語でゴールドを意味する「Or」が組み合わされて付けられた名称で様々な種類があります。



(2) Midorのメレンゲは味と同時に食感が好きという方が多いです。(3) CaillerのGrand Vins du Valaisはワインが練り込まれたチョコレートで、冬季限定商品のためジュネーブ在住者でも知っている人が少ない一品です。

#### ③ グリュイエールチーズ

店舗：COOP、Migros、Manor (デパート)  
場所：(Manor) Rue Cornavin 6, 1201 Genève

解説：スイスの首都ベルンとジュネーブのほぼ中間点の山合



いに位置するグリュイエール (Gruyère) 地方はスイス最大のチーズ生産地で、多くの人に好まれる理由はやはり味の良さにあります。チーズの種類も豊富で一般的な固形チーズ、スイスの名物料理であるフォンデュやラクレット用のチーズなどが手頃な値段で販売されています。銘柄が必ずしもGruyèresではないですが、Migrosでは電子レンジで温めるだけでチーズフォンデュができるチーズパックが販売されており重宝されています。

〈参考〉 Gruyèresの街 (ジュネーブから車で90分) にあるチーズ博物館では乳牛が食べる餌の配合がもたらす香りの良さや製法に関する展示があり、併設するチーズ工場では一連の製造工程が見学できます。Gruyèresは伝説で「鶴」を意味するGrueを語源とし、街を見下ろす丘の上に建つグリュイエール城の紋章には鶴が描かれています。

#### ④ インスタントRÖSTI (リュシティ)

店舗：COOP、Migros

解説：スイス・ドイツ語圏の名物料理であるRÖSTIは一言で言えばじゃがいもを使ったお好み焼きのような料理です。具材として玉ねぎやチーズを入れたりしますが、簡単に作れるのがスーパーで売っているインスタントパッケージのRÖSTIです。複数の食品メーカーがいろいろな味や具材のバリエーションの商品を販売しています。



#### ⑤ 調味料 (メーカー/商品)

- (1) A.Vogel/Bio Herbamare (Original)
- (2) COOP Fine Food/Walnut Oil (Huile de Noix)

店舗：COOP、Migros

解説：(1) “A.Vogel” は発売元のBioforce AG社を創設したスイス人フィットセラピスト (ハーブを利用した植物療法士)、Alfred Vogel氏 (1902-1996) の名を冠した食品ブランドです。A.Vogelブランドの健康志向食品の中でも、ハーブソルトはサラダだけでなく肉料理や魚料理など何にでも使えておいしく、日常生活でもファンが多い人気の商品です。(2) FINE FOODというCOOPのプライベートブランド商品ですが、クルミがつかったサラダオイルで、このオイルと塩



こしょうだけでもサラダがとてもおいしくなると好評です。これらの商品は長期滞在される出張者がホテルで自炊されるような場合にも重宝されています。

#### ⑥ ハーブティー (メーカー/商品)

- (1) RICOLA
- (2) COOP Pro Montega

店舗：COOP、Migros

解説：(1) RICOLAは世界最大のハーブキャンディーブランドですが、同社のハーブティーも有名です。ティーバッグタイプと粉末タイプがあり、夜寝る前に飲むとよいハーブティーや複数種類のブレンドタイプなどバラエティも豊富でパッケージもきれいです。(2) こちらはCOOPのプライベート商品ですが、エーデルワイス (キク科の高山植物) を使ったハーブティーです。パッケージも赤と白のスイス国旗カラーでエーデルワイスの写真もあり、スイスのお土産らしい一品です。



#### ⑦ フランス・Echire (エシレ) バター

店舗：フランス領内のスーパー、及び朝市等

解説：スイス/ジュネーブのお土産ではないですが、当地で入手可能な希少商品として御紹介します。日本では高級バターとして100g当たり1000円程度の値段がついているようですが、こちらで購入すると数分の一の価格で入手できます。もちろん、流通コストが日本での価格に反映されているので生産地近くよりも高くなるのは当たり前なのですが、工業製品は世界的な同一商品同一価格化が進む現在でも地産地消が基本の食品は内外格差が大きく「喜ばれるお土産」として好まれています。

#### ⑧ スイス産ワイン

店舗：(1) Cave du Palais de Justice (2) COOP Vernier  
住所：(1) Place du Bourg-de-Four 1, CP 3103, 1211 Genève (2) Route de Meyrin 171 Vernier

解説：スイス人はワインの年間消費量が世界トップ5に入るほどワイン好きで国内消費量が国内生産量の3倍に達し、ま

たヨーロッパのワイン生産主要5か国（イタリア、スペイン、フランス、ドイツ、ポルトガル）のうち3か国と接して多くのワインを輸入しています。しかしながらスイスの地形と土壌はワイン醸造のためのぶどうの栽培に適しており、ジュネーブ州はスイスの中でヴァレー/ヴァリス州、ヴォー州に次いで第3位のぶどう作付面積を記録します。前述の理由からスイスが輸出するワインは総生産量の1%しかなく国外で見かけることはほとんどありませんが、ジュネーブ州には数多くのワイナリーがありGenèveの刻印のあるワインも数多く存在します。



(1) ジュネーブ旧市街にある裁判所の隣で営業する有名ワインショップです。平均価格帯は高めですがワイン好きの方への贈答品や御本人・御家族のためのちょっと良い

ワインを調達されるのに最適だと思います。(2) 前述のワインショップと異なり大型のスーパーマーケットですがワインコーナーの棚面積が大きく、フランス、イタリア等のワインだけでなく、ジュネーブ州、ヴォー州、ヴァレー州などスイスワインの品揃えが豊富で、価格も数フランから購入できます。この大型のCOOPはジュネーブ・コルナヴァン駅から、先頃ビッグス粒子で有名になったCERN（欧州原子核研究機構）に向かうトラム沿線にあり、コルナヴァン駅から12分で行くことができます。前述の様々な商品も陳列してありますので、お時間があるときにのぞいてみると楽しいと思います。

### ⑨ Moût (ムー)

店舗：Manor等

場所：Rue Cornavin 6, 1201 Genève

解説：Moût (ムー) はワインになる前の、発酵させる前のぶどうの搾り汁のことです。普通のぶどうジュースと違うところは、搾っただけでフィルターにも何もかけない状態、まさしく搾り汁なので果汁には果肉や果皮、また種子などが混合したままで販売されているところです。ムーはぶどうの収穫時期からワインの仕込みまでの期間、秋季限定で販売されていますので季節の珍しいお土産として喜ばれると思います。

## 3. グッズ・小物編

ここからはスイスならではの、ジュネーブならではの、様々なグッズや珍しい小物などを御紹介したいと思います。

### ⑩ スイス・アーミーナイフ

店舗：Victorinox Genève SA

場所：Rue du Marché 2, 1204 Genève

解説：日本ではアーミーナイフ、若しくは十徳ナイフとして有名なビクトリノックスの直営店がジュネーブ旧市街にあります。コンフェデレーション通りに面したグランドフ



ロアは主にアパレル製品、地下1階に100種類以上のアーミーナイフ、キッチン用品（主にナイフ）やトラベルグッズなどが販売されています。街のみやげ物店や空港などでもビクトリノックスのアーミーナイフを購入することはできますが、この旗艦店をお薦めするのは、購入するアーミーナイフの柄の部分に有償（5.00スイス・フラン）で好きなアルファベットや数字をその場で彫ってくれるからです。家族や友人の名前を刻印した世界に一つだけのアーミーナイフをお土産にしてはいかがでしょうか。

### ⑪ Caran d'ache (カラン ダッシュ) の文房具

店舗：例えばBrachard et Cie SA

場所：10 Corratier 1204 Genève

解説：ボールペンや色鉛筆、ライターなどの製品は全てジュネーブの自社工場にて生産しており、保証書や外箱、筆記具本体には特徴ある字体でSwiss Made、若しくはGenevaの刻印が入っています。外箱も重厚で美しく贈答品としても品があると思います。また色鉛筆の製品の一つは水溶性で、絵を描いた後に水を使ってボカシ効果が入られるということで、スケッチが好きな方へ、また珍しい色鉛筆としてサブライズのお土産にいかがでしょうか。店舗として文房具専門店を御紹介しましたがデパートなどでも販売されています。

### ⑫ 日本のマンガ（単行本）のフランス語版

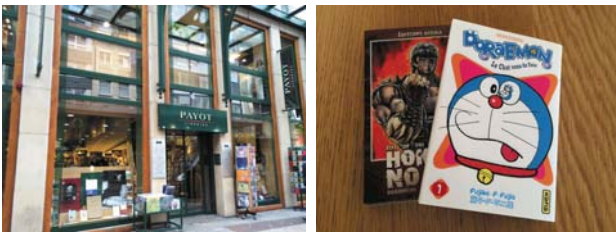
店舗：例えばPAYOT（ブックチェーン）

場所：(1) 16, Rue du Marché, 1204 GENÈVE (2) Rue de Chantepoulet 5 1201 Genève

解説：皆様既に御存じのようにここ数年ヨーロッパでは日本のマンガとアニメの人気はもの凄いのがあり、日本の有名な定番マンガ、近年のベストセラーマンガのほとんどは各国言語に翻訳されて子供から大人まで幅広いファンを獲得しています。ジュネーブの大型書店では日本の古典から現代著名作家の単行本、例えば夏目漱石、川端康成、村上春樹など



のフランス語訳が専用コーナーに並んでいますが、その2~3倍のスペースを使ってマンガのフランス語訳版が陳列されています。登場人物の吹き出しはフランス語ですが、コマ割りや作画は全てオリジナルのマンガと同様ですので、日本語版と比べるとどのような言い回しで表現されているのかがよく分かります。ご自分の好きなマンガのフランス語版をコレクションしてもよいですし、フランス語を勉強している友人・知人へのお土産としても面白いのではないのでしょうか。



### ⑬ 調理用器具、卓上小物

- (1) ラクレット用器具
- (2) チーズ用ナイフセット

店舗：COOP、MIGROS、Manor等

解説：(1) 日本に電熱式たこ焼き器があるように、スイスにも電熱式のフォンデュ鍋

やラクレット用器具があります。ただし日本とは電圧もプラグ形状も異なりますのでよほど好きな人でないとジュネーブで購入して帰国後に使おうという気持ちにはならないかと思います。そんな時、ろうそくの火力で調理ができるラクレット器具はいかがでしょうか。いろいろな味のラクレット用チーズも簡単に入手できますので御家族・御友人へのお土産としてちょっとしたサプライズが演出できると思います。(2) スイスにはいろいろな種類のチーズがありますが、それぞれのチーズに合ったナイフがあります。機能が同じであれば見た目が素敵なもの、可愛いものもお土産としては喜ばれると思いますので何かテーマを決めてオシャレなキッチン小物を探してみるのも面白いと思います。これまで何度か登場しているManor (マノール) というデパートは地階にキッチン小物専用コーナーがあり、スイスだけでなく、北欧やドイツ、オランダ、フランスといったヨーロッパ各国のデザインによる様々な製品が並ん



でおり、目に楽しい売り場になっています。

### ⑭ WELEDAの入浴剤

店舗：COOP、MIGROS、薬局等

解説：ヴェルダの製品は既に日本でも有名ですが、スイスのお土産ということでもまだまだ喜ばれるようです。去年はWELEDA社のお風呂に入れるオイルの小瓶セットがVogue Japan紙の2013年のベスト商品として紹介されていたそうです。このブランドに限らずヨーロッパのアメニティグッズ(お風呂用品、トイレタリー)は日本製品にはない香りやボトルデザインで、特に女性向けのお土産として人気が高いようです。

女性に人気のボディケア製品はいろいろありますが、スイス製でない製品も多く、ジュネーブのお土産という本稿の主旨と若干そぐわないですが、参考までに製品名をお伝えします。簡単に入手できるものとして、紙アロマ・Papier d'armenie (フランス)、Yves Rocher・自然スキンケア商品(フランス)、TEMPO・ポケットティッシュ(スウェーデン)などがお土産として喜ばれているようです。

### ⑮ SWATCH

店舗：SWATCH

場所：Rue du Marché 40, 1204 Genève

解説：スイス製ファッションウォッチとして日本でも有名なSWATCHの直営店がジュネーブ旧市街にあります。SWATCH自体は安価な時計ブランドですが、SWATCH



グループはオメガ、ブレゲ、ティソ、ロンジンなど18の有名ブランドを傘下に持つ世界最大の時計製造グループです。購入しやすい価格設定と特徴的なデザインはファッション界を意識して春夏、秋冬コレクションとして年に2回の新作発表を行います。1つのモデルは1シーズンのみの販売とされているため、この地を訪れたご自身の思い出として後から振り返ることも出来ます。SWATCH (スウォッチ) という名称は「スイス・ウォッチ」の略だと思われる方も多いと思いますが、創設者でありスウォッチグループの会長であるニコラス・G・ハイエックによると気分やTPOでいつも気軽に交換できる「セカンド・ウォッチ (Second Watch)」の意味だそうです。

⑩ ジュネーブグッズ

店舗：Manor

場所：Rue Cornavin 6, 1201 Genève

解説：「ジュネーブ」という名称は、スイス連邦26州の1つである「ジュネーブ州」を指す場合と、ジュネーブ州内にある45の自治体の1つ「ジュネーブ市」を指す場合があります。多くの独立国家が併合されて現在の国家を形成するヨーロッパでは昔から受け継がれる国家（もしくは王族）の紋章を重んじており、ジュネーブ州およびジュネーブ市は左側に鷲、右側に鍵をデザインした紋章を使っています。これは古の時代、ジュネーブの大司教が神聖ローマ帝国の権威を一手に代理していたためローマ帝国の紋章（左右対象に向く鷲）の半分を左側に、大司教紋章（2つの鍵）の半分を



右側にデザインしたものです。空港や駅周辺には多くのお土産屋さんがありますがスイス国旗（赤地に白十字）にちなむグッズは多くありますがジュネーブの紋章をデザインしたグッズはあまり多くありません。ご紹介するデパートの地階には私が知る限り周辺では最大のジュネーブグッズが揃っていますので、ジュネーブの紋章に関するグッズをお土産にされる場合にはここを訪れることをお勧め致します。

4. おわりに

今回はジュネーブで入手可能な、日本で喜ばれるお土産について、ジュネーブ在住の日本人の方々のご協力の下、食べ物、飲み物、並びにグッズの最新情報を御紹介させていただきました。出張者の方々がいづとも違うお土産を選ぶ時の一助となれば幸いです。

ジュネーブ マップ

